

# 実践研究報告

## ① 学校概要・研究報告

### A 地域と学校概要

＜教頭 松尾 幸広＞

#### 1 地域の特徴

根室市は、北海道の最東端に東西70km、南北に10kmに細長く突き出た根室半島と半島の付け根辺り、そして北方領土の歯舞群島を市域としている。昭和50年には4万5千人いた人口も今は2万9千人と減少している。

主力の産業は、特産のサンマや花咲ガニ、昆布など水産業であるが昭和40年代をピークに各種の規制により半減している。今は、沿岸漁業資源の増養殖や水産資源の加工など各種振興策に力を入れている。また、納沙布岬・風蓮湖・チシマザクラなどの自然の豊かさを生かした観光産業とさんま祭り・かに祭り・港祭りなどのイベント等の観光振興に力を入れている。

#### 2 学校の概要及び生徒の実態

##### (1) 学校の概要

本校は昭和45年4月1日市立根室西高等学校として前身の私立根室明照高等学校を仮校舎として普通科2間口で開校した。昭和46年校舎落成、昭和49年道立移管となり人口の増加とともに入学生徒数も増え、昭和55年度に8間口となる。その後、地域・社会情勢の変化とともに入学生の減少が続き現在(3間口、次年度入学生は2間口)に至っている。これまで本校を巣立った卒業生は、5,676名であり、地元根室市や北海道全域で活躍している。

昭和50年代後半から一部の生徒の粗暴な行動が目立ち、校内・校外問わず非行事故が多くなる。以後生徒の学校再建の動きに教職員が立ち上がり、保護者・地域住民の協力で学校は徐々に変化してきた。現在は、地域住民の信頼を取り戻し、大変落ち着いて勉学・部活動に励んでいる。

生徒は、概して純情で素朴である。生活面では、一昨年度までは問題行動による事故件数も多かったがここ1・2年は大きく減少している。学習面では、小学校・中学校時で学習しているはずの四則計算や漢字の読み書き等が身につけておらず、習熟度別学習や個別の指導で基礎・基本を学び直している。授業態度は、「寝る」「私語」等の授業への積極的な参加が見られない生徒も若干いるが、一時的なものであり、学ぼうとする意欲は持っている。

教職員は、身だしなみ・挨拶等の基本的な生活習慣の確立に重点を置き、服装・頭髪・言葉遣いにきめ細かい指導を実施している。また、生徒もこうした指導を聞き入れ、校舎の破損も少なく、清掃活動も積極的に参加し校舎内はきれいな状態となっている。

##### (2) 学校の特徴

#### ア 外国語(ロシア語)のT・Tと数学の習熟度別少人数学習

- 平成10年8月より「語学指導等外国語誘致事業」ロシア語指導助手が常勤となりT・Tによる選択授業「ロシア語」を実施している。この事業は、平成22年8月に終了し、以後ロシア人の非常勤講師をお願いし生徒の発音や対話を重視した授業を展開している。また、1年生の「高校数学入門」では、習熟度別学習とT・Tを実施し、基礎基本の定着を図っている。

#### イ 朝読書活動

- 平成20年9月より朝読書活動を取り入れた。始業前10分間静寂の中で自分の好きな本を読むという形態は、今年度に入り完全に定着し、気持ちを落ち着かせ次の授業に向かわせるなど効果を上げている。

ウ 家庭訪問の実施

- ・ 年2回家庭訪問週間を設定し、全家庭の訪問を実施している。家庭に出向き生徒の保護者や生活実態を把握することはその後の生徒指導に大きく役立っている。

エ 推進事業指定校の取組

- ・ 平成19年度20年度「卒業応援さわやかプロジェクト事業」研究校の指定を受け、退学者減少への取組を実施。平成21年から22年度「確かな学力を育む高等学校教育推進事業」実践校の指定を受ける。

オ 北方領土研究会の設立と活発な活動

- ・ 平成21年度に生徒の自発的な要求により「北方領土研究会」が設立した。活動内容は、眼下に写る北方領土について知り、広く北方領土について国民に知ってもらうことにある。具体的には、東京都や広島県の高校への出前講座や「北方領土を考える」弁論大会への参加、北方四島交流推進事業(ビザなし訪問)への参加、返還運動署名活動など幅広い活動を行っている。これらの活動は、北海道・根室市などとの連携により進められており、今後も活動内容は一層広がることと思われる。

○学級数・生徒数(平成22年5月1日現在)

全日制 普通科	学級数	1年		2年		3年		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女
		55	32	32	42	45	29	132	103
計	9	87		74		74		235	

○教職員数(平成22年5月1日現在)

職名	校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	事務長	事務職員	計
人数	1	1	25(1)	1	1	1	2	32(1)

( ) 育児休業者

○卒業生進路状況(平成22年3月末現在)

ア 就職

イ 進学

	ア 就職				イ 進学						自営	計
	道内	道外	未定	計	私大	私短	専各	准看 技専	未定	計		
男子	24	0	6	30	7	2	6	5	1	21	5	56
女子	18	0	1	19	7	1	9	2	0	19	6	44
計	42	0	7	49	14	3	15	7	1	40	11	100

## 1 はじめに - 確かな学力と北方領土学習 -

北方領土問題は、我が国における重要な国家的課題である。戦後60数余年経過したが、日ロ関係の最大の懸案でもある。本校において、北方領土学習に取り組むきっかけとなったのは、ある一人の生徒の私たち教員への投げかけである。その生徒は、元島民3世であり、北方四島へのビザなし交流や根室市のキャラバン隊への参加など比較的北方領土返還要求運動への関わりの強い生徒であった。その生徒が、「北方領土について、もっと詳しく学習したい。」「なぜ隣の高校には研究会があるのに、私たちの学校にはないのだろう」という希望と疑問を私たちに投げかけてきた。確かに本校の窓からは、晴天でかつ種々の条件が整うと眼下に「国後島」がくっきりとみることができる。赴任当初は、「こんなに近くに綺麗な島があるのだ。」と感動は覚えたものの、日々の業務に追われるうちに、見えるが忘れかけた存在になっていたことは事実である。その生徒の希望と疑問に触れ、「あれは我が国固有の領土だよ」「根室管内や北海道の北方領土学習の現状は、どうなっているのだろうか。」という私自身の課題意識が強くなり、「北方領土学習」に取り組んでみようという強い感情が芽生えたのである。

しかしながらこの教育活動を行うにあたり、地理歴史科・公民科としての実績はあったものの、北方領土弁論大会やビザなし交流事業などの教育活動との関係性が校内においても統一されておらず、全校的な活動とは言い難い実態があった。全校的な教育活動として「北方領土学習」として位置づけるためには、校内に「北方領土関連事業」を統括する部署が必要ではないかと考えたのである。

平成21年4月本校の校務分掌の一貫として、総務部に北方領土関連事業を担当する部署が誕生した。この部署は「北方領土関連事業の統括、北方領土学習の推進、北方領土事業関係機関との連携、北方領土弁論大会の統括、研究紀要の編集、作成」を主な業務として位置づけており、外部各関連団体と校内を繋ぐ役割とともに、校内の北方領土学習を推進するという大きな役割を担ったのである。

平成21年6月には、私たちへ希望と疑問を投げかけた生徒も含めた3名の生徒発案による「北方領土研究会」が誕生した。この会の誕生は、根室高校に次いで全道で2校目であり、各方面からの反響は大きかった。「根室さんま祭り」に行われた社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟主催の北方領土返還の署名活動への協力要請、根室市や社団法人 北方領土復帰期成同盟等の主催の広島県へのキャラバン隊派遣など、数多くの関連事業団体から協力要請を頂いたことは、我々にとっても生徒にとっても嬉しい反応であった。研究会員の数も日に日に増加し、現在(2010年1月)では10名の生徒が所属している。今後も、活発な活動の期待できる研究会に成長したと言えよう。

本校における「北方領土学習」事業の大きな転機となったのは、平成21年6月8日付けで北海道教育委員会より実践研究推進校として指定された「確かな学力を育む高校教育推進事業」である。「確かな学力を育む高校教育推進事業」とは、「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む意欲や態度の育成など、高校教育が直面する課題を踏まえ、これからの課題解決に向けた実践研究に取り組む高等学校を支援し、その結果の普及を図るほか、教員の教科指導力向上を目指した実践的なセミナーを実施することにより、本道の高校生の「確かな学力」の向上を図る。(趣旨抜粋)」ことを目的とした事業である。この事業の指定を受け、本校の重要な課題でもある「確かな学力を育む」という命題を研究する機会に恵まれた。また、この事業推進のために十勝教育局と網走教育局からサポートチームを派遣していただき、研究の下地は整ったのである。後述の指導案の展開例の中で明らかになるのだが、サポートチームの助言もあり、まず生徒の既存の知識を調べるためにレディネステストを行ったところ、北方領土隣接地域に住む生徒の割には、知識の定着率が低いのではないだろうかという実態と向きあうことができたのである。本来ならば高校生の北方領土学習の展開例として、千島アイヌ民族や植生分布など高等学校の地理、歴史等と絡めて授業展開するのが良いことなのだろうが、本校の実態を考え、高等学校初級編としての北方領土学習の授業を考えることから始めることにし

た。その際、義務教育教員が中心となって結成されている根室管内北方領土学習研究会が今年度から提唱した「北方領土で学習する」という基本的な考え方を踏襲し、義務教育段階との接続を意識しつつ、確かな学力を育成するための方策を試行錯誤しながら研究することを始めるに至ったのである。

平成21年度の成果は、平成22年度の本校の北方領土学習に大きな自信を与えた。「確かな学力を育む高校教育推進事業」も2年目となり、成果をまとめる段階へと移行した。地理歴史科ばかりではない各教科への波及を前年度から模索しており、知恵と工夫が求められた。その際、波及の起爆剤となったのが後に「チーム北方領土」と称することになる総務部企画係北方領土担当の教諭達である。昨年から引き続きこの「確かな学力を育む高校教育推進事業」と関わり、その趣旨や目的、本校におけるこの事業の意義を熟知していた彼らは、有無をいわず研究に突入したのである(生物Ⅰと国語総合の研究がそれに当たる)。また、前年度の「地理A」の授業を深化発展させる形で取り組んでもらったH22年度の「地理A」の実践研究(清野教諭の実践研究がそれに当たる)も、大変充実しており昨年以上の成果となった。このようにして「確かな学力を育む高校教育推進事業」は、確実に前進し大きな成果を残せたものと確信するのである。

また、「北方領土研究会」も飛躍の年であった。昨年度の牧野裕樹の弁論大会次席受賞後、「北方領土研究会」も活動が活発化した。根室高校、根室市、根室青年会議所との合同事業となる北方領土出前講座事業への参加。大阪府立芦間高等学校での単独北方領土出前講座など、多くの団体からの支援もあり活動の幅が大いに広がった年でもある。

## 2 「確かな学力を育む高校教育推進事業」と成果 ～高等学校学力推進協議会から～

本事業を行った一番の成果は、本校生徒の実態を具体的に知ることができたことである。北方領土という本校生徒にとって身近な課題である事例を題材に、生徒の学力実態及び知の獲得のプロセスを検証する上で良い機会となったのである。

今事業における「確かな学力」の目指す姿は11頁～14頁に記載した、全体計画及び学習の展開によるところが大きい。この事業を通じて、「生徒に育む資質能力は①学び方を学ぶ、②プレゼンテーション能力の育成、③問題解決能力の育成、④学ぶ意欲の向上とした。これは北方領土学習を通して、身」近な課題である北方領土についての基礎的基本的な知識技能を確実に習得させることは勿論、その知識技能の活用や習得した知識技能を相互に関連づけながら探求する学習活動を重視したのである。これが根室教育研究所の提唱した、「北方領土を学習」するのではなく、「北方領土で学習」という部分と本校の北方領土学習の目指す姿との相通ずる部分なのである。

本校の課題の一つに学ぶ意欲が低い傾向にある生徒が多い。学力等実態調査の結果(10頁記載によれば)、「勉強がすきだ」に肯定的に答える生徒が事業開始時には6%程度であった。また、平成22年度末の状況にしても13%とまだまだ課題は多い。そのためか家庭学習の習慣も低く(10頁記載)、学びに対する意欲そのものが失われている生徒が多数いることが実態としていえる。

なぜ、学ぶ意欲が向上しないのか。本校と似たような状況にある学校については永遠の課題である。特筆すべきは「学習方法がわからない」と答えた生徒(10頁記載)が事業開始時には75%、平成22年度には69%もいることである。依然と高い比率であり、「学び方を学ぶ」、つまり学び方を教える支援が早急の課題の一つといえるだろう。日々の学校の授業については「授業がわかる・授業が楽しい」と肯定的に答える生徒が平均50%前後で推移しており、課題はあるものの充実改善の余地の多い結果である。こういった結果が、先述した「生徒に育む資質能力の育成」を推進する大きな理由になるのである。

高等学校学習指導要領 教育課程編成の一般方針にもあるように、「生徒の人間としての調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態、課程や学科の特色、生徒の心身の発達段階、及び特性等を十分考慮して」この本校の実態を多角的かつ多面的に解決する手立てを考える必要がある。

以下、今年度の成果と今後と取組みについては次頁報告書に記載する。

「確かな学力を育む高校教育推進事業」実績報告書 [平成22年度]

学校名	北海道根室西高等学校	全(定)	校長名	前田 豊
-----	------------	------	-----	------

1 研究授業の実施状況

実施日	教科	研究テーマ	参観者数	
12月7日	地理歴史	北方領土問題など、郷土の歴史や文化への理解を深める指導等の工夫改善	自校 10人	他校 13人
			自校 人	他校 人
研究授業実施の成果		・事前に行ったレディネステストを基に、授業のねらいを絞り、効果的な指導方法を模索することができた。 ・国語や理科など、他教科における北方領土学習を実施できた。		

2 学力向上サポートチームの活用状況

実施日	教科	内 容
9月14日(火)	地理歴史・公民・英語・理科・外国語	全体計画及び年間計画、教科別教育活動計画についての助言
12月7日(火)	地理歴史	公開授業「地理A」における助言
12月7日(火)	地理歴史・公民・英語・理科・外国語	教科別教育活動計画及び学習指導案についての助言
12月7日(火)	全教科	講演(義務教育での北方領土学習)と研究協議の参加と助言
1月21日(金)	地理歴史・公民・英語・理科・外国語	まとめ方と成果の普及方法の助言
サポートチームの効果		・北方領土学習を行うにあたり、生徒の実態を把握するとともに、生徒の実態に即した効果的な指導方法を模索することができた。 ・地理歴史科のみならず、各教科・科目、総合的な学習の時間など多岐にわたり「確かな学力」を育む指導を実施することができた。 ・「北方領土学習」を通じた「確かな学力」育成に向け、北方領土学習の全体計画及び各教科の教育活動計画を作成することができた。

3 実践研究の取組状況

(1)共通研究課題

項目	平成22年度の取組内容
ア 学力等実態調査を活用した学力の把握と授業改善	・学力実態調査の実施 ・研究授業の実施
イ 生徒や教員相互による授業評価などを活用した、PDCAサイクルに基づく授業改善	・授業評価を利用した教科会議の実施 ・学校評価の活用 ・各評価をうけての目標値の設定の検討
ウ 学習習慣の定着や学習意欲の向上のための指導方法、教材等の工夫	・「学習状況等調査」の調査結果の分析と課題の明確化 ・生徒の興味関心を生かした教材等の研究
エ 到達目標の設定及びその目標を踏まえた評価規準の見直し・改善	・事前学習調査の実施 ・自己評価の実施

(2)実践研究課題

実践研究テーマ	北方領土問題など、郷土の歴史や文化への理解を深める指導等の工夫改善	
実践研究教科等	平成22年度の取組内容	
①地理歴史科 ②公民科 ③国語科★ ④理科★ ⑤外国語科(ロシア語)★ ⑥総合的な学習の時間	平成22年度	各学年・教科及び分掌が共通して次の実践研究に取り組む ○生徒の学習状況の実態把握、課題の明確化と改善策の検討を研究 ・小、中学校における北方領土学習の状況の調査の活用 ・高校における北方領土学習の検証 ・具体的な指導内容と指導方法の改善 ○前年度の実践研究の成果と課題を踏まえた学習指導に関する研究 ・地域の実情に合わせた指導内容の検証及び改善 ・学習形態や教科を横断した取り組みの検証及び改善 ・学校行事での実施や、地域行事等への参加の検証及び改善 ・課題解決学習や探求学習の導入に向けた授業方法や教材の検証及び改善 ○シラバスの見直しに向けた研究 ・教育課程全般にわたる北方領土学習の検証及び改善

#### 4 目標指標の達成状況

指標	評価の方法	期待される成果	基準値 (事業実施前の状況)	平成22年度末の状況	達成度
○学力の把握状況	・学力等実態調査の調査結果	本校通過率が3%増加	国語総合 31.7% 数学Ⅰ 6.5% 英語Ⅰ 17.0%	国語総合 29.6% 数学Ⅰ 6.3% 英語Ⅰ 21.5%	○
	・学習等状況調査の調査結果	・項目「勉強がすきだ」に肯定的に回答する生徒が5%増加	6%	13%	★
		・授業がある日、休日など家庭学習をする生徒が10%増加	授業がある日20% 休日 13%	授業がある日 20% 休日 16%	□
		・「学習に対する意欲」に肯定的に回答する生徒が5%増加	26%	38%	★
		・「学習方法がわからない」に肯定的に回答する生徒が10%減少	75%	69%	★
	・各種検定試験の受験者数	・受験者数が10%増加	20%	97%	★
・生徒による授業評価の評価結果	・「授業がわかる、授業が楽しい」に肯定的に回答する生徒が10%増加	42%	62%	★	
○北方領土問題など、郷土の歴史や理解を深める指導方法の工夫・改善	・指導案の作成	・教科指導案の作成	北方領土問題に関する指導案の作成1回	北方領土問題に関する指導案の作成5回	★
		・総合的な学習にお時間における指導案の作成	弁論大会発表会の指導計画の作成	平成22年度は作成できず	▼
	・教科における関連問題における正答状況	・正答率が50%以上	地理歴史科レディネステスト結果30%	再テスト 85%	★
	・総合的な学習の時間における北方領土学習に関する取り組み	・講演を含め年間4回以上	4回	0回	▼
	・北方領土学習に関する校内研修・学習方法に関する校内研修	・年1回以上 ・年2回以上(公開授業週間含む)	1回 2回	2回 2回	★
	・北方領土学習に関する書籍の整備	・新聞の定期購読を含め、30種類以上購入	30冊	20冊(学校図書館において、北方領土学習コーナーを設置)	★
	・シラバスの改善	関連教科でのシラバスへの記載	地理歴史科公民科	記載済1科目。次年度へ反映	●
	・地域関連行事への参加	・参加の継続 ・弁論大会での入賞	参加継続 入賞	100%の参加率 外務大臣賞入賞	★

※達成度 ★:5割以上達成 ●:3割以上達成 ○:1~2割達成 □:達成度1割未満 ▼:マイナス

#### ○その他の成果

- ・身近な課題である「北方領土」を学習することで、課題に対する生徒の興味関心が向上し、学ぶ意欲を喚起することができた。
- ・北海道や根室市などの北方領土関連の行政機関との連携が深まり、「確かな学力」育成に向けた支援が従前よりも受けられるようになった。
- ・北方領土学習に関する全体計画の作成を行うことで、教科を横断した指導体制と指導力向上のための研究が可能になった。

#### 5 平成22年度における課題

- ・生徒の学ぶ意欲を高めるとともに、問題解決的な学習など生徒が主体的に行う学習を通して、思考力・判断力を育成する。
- ・総合的な学習の時間における北方領土学習の位置づけを明確にする。
- ・北方領土問題に関わる講演等を活用し、生徒の学習意欲の向上のための工夫を行う。

#### 6 2年間の実践による成果と課題

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校で設定した「生徒が育む資質能力(①学び方を学ぶ、②プレゼンテーション能力、③問題解決能力、④学ぶ意欲)」を全体計画の重点目標として位置づけ、各教科・領域等での教育活動計画に反映することができた。</li> <li>・「生徒が育む資質能力」を育成するための研究を通して、教員の教科等の指導力向上を図ることができた。</li> <li>・内閣府、北海道、根室市、北海道北方領土教育者会議など、多くの関係機関・団体等との連携を図ることができ、表現力や問題解決能力など「生徒が育む資質能力」の向上に資することができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な学習の時間」における「北方領土学習」の研究の重点的継続。</li> <li>・各教科における北方領土学習の可能性の模索。</li> <li>・生徒の「確かな学力」をより定着させるため、「生徒が育む資質能力」の育成に向けた研究の推進。</li> <li>・PDCAサイクルを活用した教育活動の見直し及び改善。</li> </ul>

#### 7 今後の取組及び成果の普及方法

- ・本事業の成果を踏まえ、各教科でのロシア文化等の理解や就職試験準備における実践的なロシア語会話の指導など国際理解教育の推進及びキャリア教育の充実を図る。
- ・本事業の成果報告書(仮称)の配付やWeb掲載等を通じて、全道各高等学校、管内市町教委、管内小・中学校、その他関係機関等への普及を図る。

## ② 北方領土学習全体計画

平成22年度 北海道根室西高等学校 北方領土学習 全体計画

### 関係法令（学習指導要領）

#### 生徒の実態

学力実態調査（3学年国・英・数）において、通過率はどの教科も全道平均より低くなっており、基礎学力の低下がみられる。特に、学習に対する関心・意欲・態度に大きな差があり、書く能力や表現力が劣っている。また、家庭学習の習慣が身につけていないのが課題である。

#### 学校教育目標

- 1 堅実錬磨の校風を涵養する。
- 2 民主的な国家の形成者としての資質と道徳心を培い、人間関係を大切にすることを育てる。
- 3 強い意志と体力を養い、実行力のある人間を育てる。
- 4 郷土を愛し、郷土の発展に寄与する人間を育てる。

### 北方領土学習の重点目標

- (1) 「北方領土学習」を通し、「北方領土」にかかわる基礎的・基本的な知識や、学び方を学ぶなどの技能の確実な習得を図るとともに、郷土の課題を発見させる。
- (2) 課題分析や自らの考えを整理する学習等を通し、生徒の問題解決能力等の思考力・判断力、プレゼンテーション能力等の表現力の育成に努めるとともに、生徒が主体的に「北方領土学習」等の学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。
- (3) 「北方領土学習」の研究を通し、「確かな学力」の一層の定着に向け、教員の指導力の向上を図る。

### 北方領土学習（推進）の基盤

#### 指導体制

- ・ 系統的な指導計画を作成する。
- ・ レディネステスト等を用いて生徒の学力を把握し、実態に応じた指導計画を作成する。
- ・ 作業的・体験的学習を充実させるなど、生徒の興味・関心を高める工夫を行う。
- ・ 教職員の協働体制を確立し、学校全体で北方領土学習を通した「確かな学力」育成に努める。
- ・ プロジェクトチームを中心とした調整会議が企画・推進する。
- ・ 行政、地域との連携を重視した指導体制を確立する。
- ・ 確かな学力の育成を意識した、北方領土学習の推進にかかわる内容の研究を蓄積し、研究成果の普及に努める。
- ・ 小学校及び中学校での学習を踏まえ、高等学校の各教科・科目の目標を達成することができるよう研究を進める。

#### 評価

- ・ 目標に準拠した評価（絶対評価）を一層充実させる。
- ・ ポートフォリオやアンケート、自己評価などを用いるなど多様な評価方法を工夫するなど、総合的な評価を確立する。
- ・ 評価の結果を次年度の計画策定の改善に生かすなど、PDCAサイクルを確立する。



行政との連携	地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府北方対策本部、外務省、北海道北方領土対策室、根室市北方領土対策室、北海道教育庁等との連携を図り、北方領土学習及び北方領土啓発活動に関して、指導と助言を得る。</li> <li>・北方領土学習に関する情報交流を密に行い、連携を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道北方領土教育者会議と連携し、全国の指導計画例の活用等、研究事例を実践に生かすよう努める。</li> <li>・根室管内北方領土学習研究会との連携を図り、「北方領土学習」の研究を通じた確かな学力の育成を目指す。</li> <li>・地域の教育資源を活用しながら、地域との連携を深める。</li> <li>・地域の人材を活用することを通じ、北方領土を身近な課題としてとらえさせる。</li> </ul>

各教科・領域等での指導方針	
各教科	総合的な学習の時間
<p>各教科にかかわる基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、学習活動を通して思考力・判断力・表現力等の能力の育成に努め、主体的に学習に取り組む意欲や態度を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理歴史科・公民科</li> </ul> <p>ア 小学校及び中学校の社会科における北方領土学習の成果に立脚し、習得した知識、概念や技能を活用して、課題を探究する学習を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科&lt;地理歴史科・公民科含む&gt;</li> </ul> <p>ア 「ふるさと学習」として、北方領土を活かした学習に主体的に取り組む態度を育て、郷土理解を推進する。</p> <p>イ 各教科・科目について相互の関連を図り、発展的、系統的な指導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科・特別活動で実施される北方領土学習での成果から、自らの郷土の課題を見つけ問題解決しようとする資質・能力や、自ら考えたことを発表するなどのプレゼンテーションの能力等を育成するために、研究発表やグループ討議などの学習活動を取り入れる。</li> <li>・学習にあたり、学校図書館及び公共図書館の活用や北海道立北方四島交流センター等の社会教育施設との連携を図り、学習が深まるよう工夫に努める。</li> <li>・資料の収集・処理や発表に当たっては、コンピュータや情報通信ネットワーク等を積極的に活用する。</li> </ul>
特別活動（HR活動、学校行事、生徒会活動）	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動・学校行事において、各教科・総合的な学習の時間と関連付けて行う北方領土学習を通じ、望ましい人間関係を構築し、問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育む。</li> <li>・生徒会活動・学校行事において、各教科・総合的な学習の時間と関連付けて行う北方領土学習を通じ、集団や社会の一員として地域の持つ課題を認識するとともに、集団や地域への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う</li> <li>・北方領土研究会において、北方領土学習の更なる習得と探究を目的とし、学ぶ意欲の向上を図る。生徒の課外活動としての位置付けを明確にし、研究成果の蓄積と普及を積極的に推進する。</li> <li>・朝読書（読書活動）において、北方領土にかかわる書籍の紹介を通じて、生徒の興味・関心の高揚を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第14条の規定に基づき、特に慎重に配慮することとする。</li> </ul>

作成：北海道根室西高等学校 総務部企画係北方領土担当（2010年）



